

2021 年度介護認知症なんでも無料電話相談のまとめ

2022 年 1 月 26 日

神奈川県社会保障推進協議会

1. 開催日時

2021 年 11 月 11 日（木）10 時～18 時

2. 電話相談の主催

神奈川県社会保障推進協議会

（全国 23 都道府県社保協が電話相談拠点を設けて実施⇒北海道、岩手、秋田、埼玉、千葉、神奈川、山梨、岐阜、静岡、愛知、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、鳥取、広島、山口、香川、高知、宮崎、鹿児島）

3. 電話相談の目的

- ① 高齢者施設はクラスターによる感染が数多く発生し、この1年余、介護現場がおかれた状況は過酷です。コロナ禍の状況も踏まえ、その当事者と家族の皆さんの悩みや思いをお聞きし、少しでも解決につなげていくことです。
- ② 当事者・家族から寄せられた悩みや思い、事例を元に、国への制度的改善の要望や、神奈川県・市町村への改善要望の取り組みにつなげていきます。

4. 49 件の電話相談を受けました（全国では 553 件）

11 月 11 日（木）10:00～18:00 までの電話相談件数は 49 件でした（うち 2 件がメール相談）。昨年が 21 件ですから、倍以上の件数となりました（2019 年 17 件、2018 年 9 件です）

新聞に事前告知の記事が載せられたことにより、午前中は新聞を見てという電話でしたが、12:00 の NHK ニュース（テレビ・ラジオ）が放映されて紹介されると、その後ひっきりなしに電話が鳴り響きました。

電話は 3 回線で、民医連の介護施設で働くケアマネージャー、ソーシャルワーカーの方 6 人をはじめ、9 人で相談対応しました。相談は 30 分以上の話しになることが多く、絶えず電話が鳴り響き、相当数が対話できなかつたと思われます。

5. 相談者の属性、主な相談内容の分類

①この電話相談を何で知ったか

新聞：4 件（10.3%）、テレビ：32 件（82.1%）、ラジオ：1 件、チラシ：1 件、知人から：1 件

②相談者 本人：15 人（30.6%）、家族：34 人（69.4%）

③相談者の性別 女性：25 人（52.1%）、男性：23 人（47.9%）、不明 1 人（メール相談）

④相談者の年齢層

40 代：3 人（8.8%）、50 代：3 人（8.8%）、60 代：10 人（29.4%）、70 代：10 人（29.4%）、80 代：6 人（17.6%）、90 代以上：2 人（5.9%）、不明：9 人 <%は不明を除く>

⑤相談内容（重複回答あり）

- ◆主な相談内容：45 件のうち、介護方法 27 件（55.1%）、介護疲れ 11 件（22.4%）、経済問題 7 件（14.3%）
- ◆制度内容：7 件（14.3%）のうち、利用者負担 4 件、申請方法 1 件、保険料 1 件、その他 1 件
- ◆認知症関連：17 件（34.7%）
- ◆コロナ禍関連：4 件（8.2%）
- ◆その他：16 件（32.7%）

6. 相談内容の特徴

昨年と比べて件数が倍化となっただけでなく、内容的な深刻さが増しています。介護保険制度の悪化にコロナが拍車をかけて、当事者だけでなく、介護を担っている家族も孤立する中での相談となりました。コロナ禍により、介護施設の入所・利用が制限され、家族介護の負担が増えています。家族による介護も、やれる範囲で自己努力を行ってきたがもう限界、なんとかして欲しいとの悲痛な訴えがされました。中には、本人、家族から「死にたい」という声も出されています。

以下、その特徴を記します。

（1）「死にたい」という声が複数寄せられた

「死にたいと思うが、今の政治では自分の命を自分で決められない。安楽死したい」、「自殺するにはどうしたら良いか」、「このままご飯も食わず、静かに死んでしまったらよいかと思っている」、「コロナで生きていてもねー」という介護を受けている当事者の声。「長男が遠方に、次男夫婦が近隣在住だが、介護は全く手伝ってもらえない。毎日、死のう死のうと考えている」という老々介護で疲れ切っている家族の声。こうした極限からの訴えが寄せられたのが、今回の相談の最大の特徴です。

介護保険制度導入以降の度重なる介護サービス利用抑制・制限の政策が続いていますが、それにコロナ禍という事態が追い打ちをかけ、一層介護利用者、家族を苦しめられている状況になっています。

（2）在宅介護の比重が高まり「介護疲れ」がまん延

主な相談のうち、「介護疲れ」は 11 件（22.4%）で、家族からの相談では 32.4%と高い比率を示しました。また、「認知症」にかかわる相談が 17 件（34.7%）もあり、家族の負担が大きくなっていることが出されました。

「もう限界。縁切りを検討したい」、「暴力的行い、怒りっぽくなった」、「すごく疲れた、元気がなくなる」、「3年ぶりのショートステイ利用も大げんか。息抜きができない」、「昼夜逆転気味で、自分の体力にも不安」、「ここ4日くらい毎日おこり続けている。上から目線で命令。あなたは私の財布を持って行った。気がおかしくなりそう」、「介護につかれて鬱的な精神状態です」、「この先、この介護がどのくらい続くのでしょうか？このことを考えると気持ちが落ちつかない」という介護家族の声が寄せられました。「この先どのように暮らしていいかわからない」

コロナ禍の影響により、デイサービスなどの通所介護の利用が減少し、在宅での介護の比重が高まりました。当然、家族の負担が大きくなり、当事者と家族双方のストレスが増大している状況とされます。

(3) 介護の利用選択に「経済的問題」が重くのしかかる

主な相談内容のうち、「介護方法」について27件(55.1%)と最も多く、それと関連して「経済的問題」が7件(14.3%)を占めました。介護方法については、特養などに入所する場合、どの程度の費用が必要か、在宅介護の場合はその費用と誰が介護を担うのかということなどが相談されました。制度内容についての相談は7件(14.3%)で、そのうち「利用者負担」4件、「申請方法」1件、「保険料」1件、「その他」1件でした。

「介護疲れもあるので、特養もしくは10万円ぐらいの有料老人ホームを探している」、「施設での介護を希望したいが、費用の問題で難しいと思っている」、「自分の年金は少ないので、妻には長生きをしてほしい」、「ヘルパー・施設料金を払い続けられるか」という切実な悩みや質問です。

このように、介護の費用負担をめぐる悩みが一段と深刻化し、介護問題を超えて生活問題の相談となってきています。2021年8月に実施された「補足給付」の見直しは“大打撃”を介護者に与えています。

(4) 「施設入所家族との面会が制限」への不安や不満

「コロナ禍関連」の相談は、4件(8.2%)でしたが、コロナ禍の中で介護施設の面会制限が起きていることへの不安・不満が出されました。

「コロナなので、面会できない。自身もぜんそくや腰痛があり大変」、「コロナ流行を理由に一切面会できない時期があったが、2カ月前から予約制で面会可となったものの、予約がいっぱいなどの理由でなかなか会えない」。

また面会が再開できてからも不安が増えています。「夏、体調を崩し、母を施設入所させた。面会に行くと帰りたと言われ、母を捨てたようでつらい」、「面会に行くと毎回家に帰りた、今日は一緒に帰る、いつ帰れるのかと帰宅願望でとても辛い」などの声が寄せられました。

家族に対して面会を許可されない、施設の所在する県外からの面会が許可されないことなどが顕在化しました。また、「面会」が制限されることの問題に加えて「認知症が進行したのではないか」との悩みも寄せられています。

(5) 介護保険制度の抜本改善に向けて

今回の電話相談で、例年より一層多くなったのが、「テレビ見て、捨てる神あれば拾う神ありと電話した」など差し迫った不安な中、相談内容が整理されないまま電話をかけてきている方が多くみられることです。

コロナ禍で家族間、知人間の交流も制限される状況が続く相談をする相手や機会を失って、この電話相談の報道を見ても立ってられず電話をしてきた様子が伺われます。そして、相談内容でいわゆる「8050問題」に関わるものが引き続いてあり、高齢の親に依存する子どもへの対応での悩みが解決できていないことも明確になりました。

私たちは、この電話相談に寄せられた「苦悩」や「叫び」を真正面からとらえて、国民が本当に願う「介護の社会化」が実現できるよう、介護をする人、介護を受ける人が手を携えて介護保険制度の抜本的な改革を求めていきたいと思えます。

以上

No.	市区町村名	相談者	性別	年代	知った理由	制度内容	主な相談内容	その他	相談内容	助言内容
1	横浜市鶴見区	家族	女性	50代	新聞		介護疲れ、介護方法		84歳、要介護5、認知症の母。人工透析を受けている。横浜市鶴見区在住。新潟で暮らしていたが、生活することができず、群馬県の有老人ホームに入所したが、金銭的に対処できず、鶴見区の自宅に引き取った。今年、4月5日に地域包括センターに相談し、小規模多機能を紹介してもらい、週3～4回デイサービスを利用。週3回透析をしている。自分も介護離職し、金銭的に苦しいので仕事をしたい。介護疲れもある。特養もしくは10万円ぐらいの有料老人ホームを探している。ケアマネに相談するが、自分で探してくれと言われて、透析がネックでなかなか探しきれない。ケアマネに不信感があり相談できず、どう動いていいかわからない。以前、区分変更をお願いし「わかりました」と言ったのに、やってくれなかったこともあった。小規模多機能は値段が高くなるので、他のサービスを使いたい。	入所相談は、ケアマネも含め、紹介業者を頼ってみてはと提案した。ケアマネへの不信感は、包括センターへの相談を勧める。包括の相談員とケアマネが友達同士で言いつらいつらということもある。包括の違う方への相談するよう伝えた。小規模多機能のいいところはあるので、それを含めて包括に相談するよう勧める。
2	相模原市	本人	男性	不明			介護方法		ヘルパーに週5回来てもらっているが足りない。ケアマネに増やすよう言っているが、人手がないうと変わらない。困っているのに、ケアマネに電話で言っほしい。	地域包括センターの連絡先を伝え、相談することを提案した。
3		家族	女性	40代	知人		介護疲れ、介護方法		別居の嫁より相談。父母は現在、夫の妹夫婦と暮らしている。父は78歳、要介護3、現在骨折中で入院。母が在宅での介護が大変と言いつ、施設での介護を希望したいが、費用の問題で難しいと思っている。その場合、在宅ではどんなサービスが利用できるか知りたい。年金は2人で月13万円。	施設のことについて、種類、費用、減額認定がとれれば、減免の可能性があるので伝えた。生活保護は利用できますかとの質問があったが、妹夫婦と同居だと難しいことを伝えた。在宅のサービスについて、デイサービス、ショートステイの利用など、負担軽減の可能性があるので、ケアマネと相談するよう伝えた。現在入院中とのこと、病院のソーシャルワーカーと一緒に相談してみると良いと助言した。
4		家族	女性	70代	テレビ		介護疲れ		障害1級。脳梗塞で左まひの介護。理学療法士で週2回リハビリ。ヘルパーでシャワー浴週3回。最近記憶が抜けてきた。本人は食べたいものや活動したことなど記録している。暴力的に行い、怒りっぽくなった。どう対処したら良いか。認知症は今度、主治医に検査してもらおうにしている。	まずは主治医に検査してもらい、対処してもらおう。ご本人が怒りっぽくなったときに、「ちよっとトイレ」とか、少し距離を置き、本人の気持ちが良いようにする。役所や病院から認知症ケアに対する方法や小冊子がある。周知の人も理解が必要。認知症の人と家族の会を紹介し、ケアマネと相談して参加も良いと思うと伝えた。自宅内での生活が多いので、リハビリとかデイケアでを行うのも距離を置く意味でも有効ではないかと伝える。
5		家族	男性	新聞			介護方法		妻、要介護3、ショートステイを利用中に転倒、骨折、入院中。今回2回目の入院。入院が続き、入院費用負担が増えた。認知症も。友人から障害手帳申請できるのでは？と言われた。コロナなので、面会できない。自身もせきや腰痛があり大変。自分の年金は少ないので、妻には長生きをしてほしい。	入院先のソーシャルワーカーや担当ケアマネに相談することを提案した。
6	横浜市	家族	男性	40代	テレビ		介護方法		腰の手術後、父の受け答えがおかしくなった。認知症の疑いがあるが、母は治るものではないからと、病院には行かないと言っているが、大丈夫か。	認知症にも種類があり、治らないとはいえないので、まずは受診を。薬で進行を遅らせたり、対処の仕方、困る症状を減らせることがあ
7	横浜市	家族	男性	60代	テレビ		介護方法		父の財産を巡り、兄嫁が父に遺言を書かせようとしている。父と話したが、兄嫁が許さない。デイサービスとショートステイを利用しているが、施設に電話しても兄嫁がキーパーソンでつかない。今後父を引き取りたいがどうしたら良いか。介護保険サービスはもう少し利用できるか。	介護施設への苦情・要望等は施設のある市役所・介護課に相談を。遺言等の場合は、弁護士介入になるのでは。介護保険の利用は転居先の地域包括支援センター等に相談を。病院も転院をお勧めする。
8	横浜市	本人	男性	70代	テレビ		介護方法		今年転倒が多くなり、介護1に。入浴が不安で、デイの入浴サービス利用するが、湯も替えずに7人も人が順番に入る。洗うのは背中のみで、サービスを断った。一般的にこんなものなのか。自宅で入浴介助してもらおう方法があるか。	サービス利用の際、自身でできることはやってみてください、ということはお勧め。身体機能の向上を考えている。デイの施設を検討してみるのが一つ。ケアマネさんはよく対応されているようなので、相談を。
9	横浜市	家族	女性	50代	テレビ		介護方法		元夫の母、認知症があり、3年前に診断後中断。短期記憶障害、口が達者で1時間おきに電話が入ることも。通販購入を忘れてくれたり、人の話を聞いてくれない。5年間入浴してなく、最近では便があちこちに付いている。食べ物はあるだけ食べている。デイケア利用、本人が拒否し終了。日中独居状態なので、離婚しているが相談者が毎日訪問しているが、もう限界。縁切りを検討し	3日前の腰痛で動けない状態になっており、早めに医療の介入を検討を。地域包括支援センターに相談し、訪問等の相談を。近くのケアプラザに行ってみます。介護認定を確認し施設照会の相談を。
10		本人	男性	90代以上	テレビ		その他		自分が見えない。死にたいと思うが、今の政治では自分の命を自分で決められない。戦争体験や今の政府の。政治は元氣な人しか対象にしない、憲法がまもられていない。戦争体験や今の政府	傾聴、思いを受け止め、共有することを伝える。

No.	市区町村名	相談者	性別	年代	知った理由	制度内容	主な相談内容	関連	その他	相談内容	助言内容
11		本人	女	90代以上	テレビ			認知症	その他	同居、今は何とか自分でやっていると、今後認知症の心配がでてきた、今後認知症になったらどうしたら良いか。自分は最後まで自宅で頑張りたい。どこに相談すれば良いか？	かかりつけ医に相談、地域包括センターに相談を(たまたまに連絡あるよ)。
12		家族	男	70代	テレビ			認知症	その他	96歳認知症母と2人暮らし。夏、体調を崩し母を施設入所させた。面会に行くど帰りたいと言われ、母を捨てたようであらう。	まずは、ご自身の体調を安定させることが大事。施設入所は間違いないことを伝える。施設のスタッフやケアマネにいろいろな気持ちや意見を、母親が安心できるように声をかけてもらうことを提案する。
13		家族	男	70代	テレビ			認知症	その他	妻。介護4で認知症・パーキンソン症の診断あるが難病申請していない。一度申請考えたが、手続きが複雑でやめた。	医療機関に、同じ内容を再度相談することを提案する。
14	横浜市	家族	女	60代	新聞		経済問題 介護方法			京都の両親、2人オムツしている状態だが、ホームも考えたいが、経済的に同居の方向。夫も賛同してくれている。	遠距離介護は経済的に無理、同居しかない結論が出ている、夫婦で十分話し合えてきている。相談して良かったと言われる。
15	横浜市	家族	女	60代	テレビ		介護 養老			兄夫婦と暮らしていた母が9月から一人暮らし。相談者の家から20分、毎朝電話し食事を持って行く。掃除・食事以外サービス利用拒否。兄嫁、勝手にやってくることでしょ。介護の大変さ理解してくれない。全て否定されているみたいで悔しい。すごく疲れた、元気がなくなる。	介護の大変さ辛さは介護をしていない人にはわからないが、わかり合える仲間、愚痴を言える相手が必要、自身のケアも考え、次はケアマネにも相談を。
16		家族	男	60代	テレビ			その他	その他	バリヤフリー、マンショントイレの段差、配管もあるがをリフォームできるか。	制度の説明、事前申請に注意を。役所の介護保険窓口へ。
17	横浜市青葉区	家族	女	不明	テレビ		介護方法 介護養老			90代母の介護、屋内自立。デイサービスなど嫌がり家にいたいと言いつつ張りつる。3年ぶりのショートステイ利用でも利用必要。屋内自立であれば、短時間相談者が出かけても良いのでは、と伝える。	ショートステイ利用は大変な進歩。根気強く説得し、本当に必要な際は喧嘩してでも利用必要。屋内自立であれば、短時間相談者が出かけても良いのでは、と伝える。
18		家族	女	不明			介護方法	その他	その他	遠方に70代母と80代父が在住。この両親に虐待されて育った。今思えば両親ともに精神障害があったと思う。35年前に家出をする前に、両親を医療につなげたいと思いつつ、訪問してもらったが「何も問題ない」と言われた。以来、両親との交流はなかったが、最近、近隣の警察署に相談者を誹謗中傷し、実家に連れ戻してほしい旨の手紙が両親から届いた。警察からは相談者が同居して両親の面倒を見るべきだ、と脅しのような口調で言われた。できるだけ両親と関わりたくなかったが、警察の言うとおりにしないといけないのだろうか。	すでに地域包括センター・民生委員が関与しており、緊急入院は必要ないと判断されているよう。相談者は、今後も遠くから見守りたいとのこと。現状、十分できることをしており、警察の言うとおりにする義務はないと、伝える。
19	川崎市	本人	男	60代			介護方法	その他	その他	頭痛、倦怠感で、不眠で辛い。数週間引きこもり。10/26救急車で病院に行ったが、薬の調整してくれただけで何もしてくれない。精神障害があり介護認定を受けた。自殺するにはどうしたら良いか、と、地域包括センター、訪問看護すべて利用したが、何もしてくれない。	デイの運動利用すれば夜眠れるようになるのではないかと？話し相手に訪問看護利用しては？精神科への入院などのご案内。
20	大和市	本人	女	80代			介護方法			施設入所1年半になる、27名ほど認知症で話せる人がいない。外出もできるが、ドアを開けてもらおうのも面倒。併設のデイが開鎖し毎日憂鬱。この先どのように暮らしていけるかわからない。	外部サービス利用できるとのことなので、趣味のカラオケ、俳句などのデイもあるのでケアマネに相談を。
21	横浜市保土ヶ谷区	本人	男	80代	テレビ		利用者負担 介護方法			肺がんステージ4の診断を受けた。在宅酸素、痛みひどい。介護1、ベット借りたいがダメと言われた。介護度に不満。	介護ペットは1割負担程度の金額で自費レンタルできるのでケアマネに相談を。介護認定も区分変更できるので、ケアマネに相談を。お金心配だと思いが、少しでも楽に生活できるように自分にお金を使うことも大事と伝える。
22	横浜市旭区	家族	女	70代	テレビ			その他	その他	夫パーキンソン、転倒骨折し6月に施設に。面会に行くど毎回家に帰りたい。今日は一緒に帰る「いつ帰れるのか」と帰宅願望でもとても辛い。後ろめたい気持ちで毎日生活している、夫をどのように説得したらいいのかわからないのか？	施設は段差もなく生活しやすいところ。「施設に入れてしまった」という気持ちでなく、夫にも自分の体のために、負担なく楽に生活できることに入力してあげたいという気持ちで生活してみてもと案内。外も外泊もできるので、気持ちの切り替えを。
23		本人	男	70代	テレビ			その他	その他	相談の内容がわからず、聞き直すと「何言ってるんだおめえ」と言われた。	その後、共助の必要性をお話しされ傾聴で対応した。
24	横浜市都筑区	家族	女	60代	テレビ		介護方法 介護養老			母99歳、先日より足腰立たなくなりました。小規模多機能利用中。特養入居も考えましたが、いいのかわからないのか。これまで泊まりの利用なし、昼夜逆転気味で、自分の体力にも不安。	今の環境に慣れているので、最大限泊まりを利用し、同じスタッフで生活させてあげたらどうか。相談者も施設に入れば後悔しそうで、同じ意見でよかった、と。

No.	市区町村名	相談者	性別	年代	知った理由	制度内容	主な相談内容	その他	相談内容	助言内容
25		家族	男性	80代	テレビ		介護方法	その他	80歳の妻が介護2(支援2?)の認定を受けた。この後、どのような手続きをすれば良いか。	サービス利用のニーズはなさそうだった。ADL(日常生活動作)自立している。関わっている地域包括センターの方がもいるようだったので、必要時相談するよう伝えた。
26		本人	女性	80代	テレビ		経済問題 介護方法	その他	11/2に入院。退院後から、ヘルパーを利用するようになった。夫は老健入所中。①ヘルパー・施設料金を払い続けるか心配。②また入院した際、保証人がどうなるか心配。11/2入院時は、静岡在住の姪が対応してくれた。	①家計の収支状況が分かっている様子だった。ケアマネさんに手伝ってもらいながら収支の整理をすることを勧めた。②今回、姪が対応してくれたのであれば、今後も信頼できるのか、相談者が元氣なうちに、よく打ち合わせしておくことを勧めた。
27	横浜市	家族	男性	不明	テレビ			その他	姉が任意後見の手続き中だが、契約直後から司法書士に月毎の報酬が発生すると言われた。認知症を発症してから、後見の効力が発揮されるのであって、報酬発生はその後のことではないか。	司法書士が言っているのは、実際に認知症になるまでの「見守り料金」のようなものことかもしれない。親族が必要時に任意後見人選任申立てができるなら、見守り料は不要であり、そこは契約で決定する部分であるため、よく相談するよう伝えた。
28	川崎市高津区	家族	男性	80代	テレビ		認知症	認知症	84歳。要介護2の妻を介護している。なんでもすぐ忘れた、覚えていないと言っている。認知症とは言われていない。	年齢を考慮すると、認知症の可能性はある。認知症の症状の中心はもの忘れ。環境やお薬調整で症状が緩和する可能性もあるもので、なせ、すぐもの忘れするかきちんと知りたいたい場合は受診を勧める。受信先は、ケアマネさんと相談してみようかと伝えた。
29	川崎市	家族	男性	60代	テレビ		介護方法		母、要介護5。特養ホーム入居中。男性スタッフが多く、内容にも不満。金銭的には余裕があるので、専門の1人のヘルパーに付き添ってもらうことはできないか? 自宅は高齢の父1人。なんとか自分ので精いっぱいなので無理。	特養は外部サービスが使えないので、高齢者住宅をご案内。介護保険ヘルパーサービスは制限があるので、家政婦を雇って付き添ってもらうのは可能かも? 住宅選定の際は条件を提示し確認することを勧め。地域包括支援センターに住宅の資料などがあると思うので、相談してはどうかと案内した。
30		家族	女性	70代	テレビ		介護方法 介護費 認知症		70歳代・要介護2。認知症のある夫を介護しているが、自身も要支援2で持病もある。相談者自身の主治医は、相談者の症状は問題ないと言いが、本当に大丈夫なのか信じられない。長男が遠方に、次男夫婦が近隣に住だが、介護は全く手伝ってもらえない。毎日、死のうらむと考えている。	相談者は元看護士であり、夫を看取してしまふ。看過してしまふ様子あり。夫は認知症ありかつ、弱状は屋外ADLも自立しているようなので、夫のサービス利用時や外出時は相談者も気分転換するよう伝えたい。抑うつ傾向にもあり、精神科受診や認知症カフェの利用を勧め
31		家族	女性	50代	テレビ			その他	8050問題。81歳の母と同居。足が悪い。高血圧。コレステロール。頻尿。苦勞してきた母、大切。自分のよりどころにもなっている。母「コロナで生きていてもねー」と時々弱音を吐く。自分の相談。昨夜一晩中いのちの電話がながらなかつた。ずっと眠れない。51歳。仕事してない。独身。緑の手帳。障害者年金受給。ちよつと働いたからちよつと高い。23歳で精神障害が発症し30年。老化が病氣いっぱい。内服30錠。週3回通院。母の住み込み家政婦(ゴミ出し、掃除、洗濯、料理)。これからどうしたらいいか。母より先に亡くなった方が私としては楽だけど親不孝。私が一人残されてどうやって死に至るか。教会に通っていたが、なんとなく前と違ふ。生きたい。牧師さんはいい方だったので代わってしまいました。今の人は外国人で…。教会の人悪くはない。切らないようにしている。	よりどころだった牧師先生が代わってしまつたのはダメージです。教会の人とも細い糸でもつながってほしい。精神疾患の人たちのNPOとも切らないように。「このままでもいいですよ」「今日はつながれて良かったです」とお伝えしました。
32		本人	男性	不明	テレビ			その他	相談者は有料老人ホームに入居中。2019年、要介護になり入居したが、現在要介護1。施設の人から「歩けるようになったから、施設に必要がないと言われたり、娘夫婦からは、アパートに引っ越してはどうかとも言われている。どうすればよいか分からず、このままご飯も食べず、静かに死んでしまつたらよいかと思っている。	死んでしまつたら悲しい。お話しを聞いてみると、相談者が要介護5から1になったことを前向きにとらえて、相談者にあった生活の場を整えようとしていくように感じた。今後の生活の場について、関係者どよ相談して欲しいと伝えた。
33		家族	女性	80代	テレビ		介護 認知症		97歳姉。6月から認知症・脳神経。月2回通院。一緒に行く。ヘルパー週1回2H、デイサービス週1回。弁当週2回。施設はいや。被害妄想、理解力低下、判断力低下。30分から1時間電話。ここ4日くらい毎日おこり続けている。上から目線で命令。あなたは私の財布を持って行った。気がおかしくなりそう。役所に相談、返事が重い。民生委員が毎日安否を確認してくれている。ケアマネが施設のカタログをおくってくれた。テレビ見て、捨てて神あれば拾う神在と電話した。	千葉県の小さな部落で、民生委員、おまわりさんに見守られて、なんとか生活している。介護サービスも利用している。いよいよ病院・施設へ。何かというときには、周の方から妹さんに連絡が来る。少し遠くから見守る感じではないでしょうか。妹さん自身の生活と健康を守って、いざというときに助けてあげられるようにと話した。「胸の内が軽くなりました。ありがとうございます」と言ってくれました。
34		家族	女性	不明			コロナ		母が有料老人ホームに入居中。コロナ流行を理由に一切面会でできない時期があったが、2カ月前から予約制で面会可となったものの、予約がいっぱいなの理由でなかなか会えない。世の中こんなものなのか。どこに相談すればいいののか。	病院・介護施設の中には、まだ一切面会不かのところがあれば、相談者母の同居施設のように予約制のところもあり、対応は施設によって様々。入居時に交わっている契約書内に、苦情相談窓口の案内があると思うので、そちらに相談したらどうかとお伝えした。

No.	市区町村名	相談者	性別	年代	知った理由	制度内容	主な相談内容	関連	その他	相談内容	助言内容
35		家族	男	不明	テレビ			その他	80歳代。要介護5の母を在宅介護している。5年前、父が他界した際、自宅で亡くなり救急搬送、病院で死亡確認したが、その後、警察介入し事情聴取を受けた。母も自宅で亡くなったら、同様の対応をしなければいけないのだろうか。	訪問診療の導入を勧めた。現在、本人の意向で、介護サービスは利用していないとのことだった。かかりつけ医・地域包括支援センターに相談するよう案内した。	
36		家族	女	不明	テレビ			その他	80歳代の母を介護している。相談者自身がコロナワクチンを接種したが、副反応が出てしまうと母の介護者が不在になってしまう。どうすればよいか。	相談者のワクチン接種前後で、母がショートステイ利用ができなにか。ケアマネに相談することを勧めた。	
37		家族	女	不明	テレビ		介護方法		遠方在住の父(レビ-小体型認知症)、母(変形性膝関節症)がいる。両親の介護にどのような関われればよいのかわからない。一般的に、子世代は何をしているのか知りたい。	介護する側、される側、各々の身体、認知機能や稼働状況等々により、介護者のかかわり方はさまざまである。相談者は現状通院時の付き添いを担っているとのこと。ケアマネとの連絡調整を適宜行っているようだった。その中で、ケアマネからは両親の経済状況を把握した方が良く、ケアマネにアドバイスを求めているようだった。今後、通院の付き添いをしたり、ケアマネにアドバイザーをもらいながら、関われればよいし、今も十分なさっていると伝えた。	
38		家族	女	不明	テレビ		介護方法		80歳代の両親が近隣に在住。父は社交的だが、母は内向的で最近物忘れが増えている。亡くなった親せきを生きていると勘違いしたりするようなことがある。①母は認知症か。受診した方がいいか。②認知症予防で気を付けることはあるか。	①認知症の中心は物忘れ症状である。周辺症状は現状なさそうだが、正確な現状把握をするなら受診をお勧めすると話した。②規則正しく、刺激のある生活をされた方が良く、介護予防サービスを受けるのも有意義であり、地域の資源について、包括支援センターに問い合わせることを勧めた。	
39	横浜市	本人	男	70代			認知症		①認知症かな？と気づいたときどのように動いたら良いか？②医療費や介護利用の費用が不安？近所へ来た施設へ見学に行ったが、窓口の対応に不満。道を聞いた時の警察の対応への不満。	否定せず傾聴した。	
40	愛川町	本人	男	不明	ラジオ		その他	その他	全盲者用の携帯電話がある。聞きたが、どのように申請したりすればいいの？同郷の娘夫婦への不満。役所への不満。自分のこれまでの人生の自慢。	介護認定についてご案内。認定が受けられれば、送迎付きのデイサービスなどの利用できる。まずは愛川町役場の地域包括支援センターの連絡先を聞いてください。ケアマネが携帯電話の件についても相談のつてくれると思うと伝えました。	
41		家族	女	不明	テレビ		コロナ		遠方の父(レビ-小体型認知症)。老健入所中(歩行不能、車イス足こぎ)。誤嚥性肺炎で余命わずか？兄がキーパーソンだが、兄夫婦は疲れ気味。コロナでこの間、面会できずに心配だった。コロナが落ち着き、緩和されたが、神奈川県から地方の施設に度々会いに行っているものか？涙ながらに話される。	娘さんが会いに行くことでお父さんが喜ぶなら、施設のスタッフの方もうれしいと思います。コロナが短期機関でも収まっているので、今の時間をあたえられたお父さんとの時間と思いい、ぜひ行ってはどうか。娘さんが公開しないように動くことが大事だと考えますと話した。(行ける限り、沢山会ってきませす。ありがとうございますとご返事)	
42	横浜市青葉区	家族	女	50代		経済問題			弟69歳。30年かかっていない(30年前に自己破産)。2019年11月、事故にあい入院している。社長さんより電話。その後、外傷性の認知症で要介護3、千葉の住宅型高齢者施設へ入居している。レベルが悪化し、毎月のお金がお金だけでは足りない。援助して欲しいと社長より要請。先月、姉と相談し、20万円ほど送ったが、今後は援助したくてもできない。どうしたらいいか。	弟さんの身体状況、年金状況と把握する必要がある。働けない状況で年金が少なければ、生活保護などの申請できることをお伝えする。今いる施設でも状況がわかるかもしれない。社長さんにはぜひりとこれ以上援助できないと伝えたい方がいいのではとお話した。	
43	横浜市	家族	女	60代			認知症・コロナ		私(60歳)は夫(75歳、要介護1)と二人暮らしです。夫は脳血管性とアルツハイマーの混合型です。今は歩行も困難な状況です。いずれ寝たきりになるのでしょうか？私自身コロナ禍もあり、介護につかれ鬱的な精神状態です。この間、主人が大きな声をだすので寝てしま、出血してしまいました。このころ、そのときのことやみかえつてきて、薬を飲んで、この先、この介護がどのくらい続くのでしょうか？このことを考えたいと思う。一番困ったことはワクチン接種の予約をとれないことでした。横浜市でとれず、かかっている横須賀の病院で接種できた。ワクチンの接種方法を考えてほしい。	日ごろの介護の大変さをねぎらっています。すこしご主人と離れる時間を持つためにも要介護の見直しをケアマネにご相談ください。介護度があがれば、デイサービスの回数を増やしたり、ショートステイの利用が可能になること。まずは主人の健康を第一に考え、すこしでも介護が楽になるように、いろいろな方の支援を得ることがたいせつです。一人で頑張らないで人の手を借りることも大切。	
44	相模原市	本人	男	60代					60歳、年金(老齢・民間)で生活している。介護保険を払ったおほえがない。請求が来たこともある。どうすればよいか。精神障害者手帳2級を持っている→サービス利用を受けている。	国民健康保険に入っていますか？→父親が払っているはず(DVを受けて別居)→加入しているなら介護保険料分を払っているはず。一応市役所に問い合わせてください。	

No.	市区町村名	相談者	性別	年代	知った理由	制度内容	主な相談内容	関連	その他	相談内容	助言内容
45		家族	女性	不明		利用者負担	経済問題 介護方法	認知症	親が最近認知症になり、要介護1になった。施設2万円くらいで入れるか。		要介護3以上でない特養は原則入れません。有料老人ホームなどは入所できるかもしれませんが、入居料などは別にかかります。特養でも食費や居住費がさらにかかります。ケアマネに相談してください。
46		家族	男性	60代	新聞		介護方法 介護疲れ		母が失禁が多い。どうすればよいのか。1日に8回も失禁することがある。日中、ずっと家にいる。介護保険は使っていない。要介護2。デイサービスは行きたくない。	地域包括支援センターに連絡し、ケアマネをつけてデイサービスが無理なら訪問看護などで失禁についてアドバイスを受けるのが良いと思う。ケアマネを依頼するのが良いと思う。と助言。	
47		家族	男性	40代	テレビ		介護方法	認知症	両親は兵庫県で二人で暮らしています。この頃、母親が同じことを繰り返したり、おかしいところがある。父親は糖尿病もあり、母と二人でいるとケンカになってしまい、閉口している様子。母は、「絶対私には丈夫なもので」と、風邪を引いても病院に行かない。一度、1年半前に受診したことが特に問題なく安心している。受診をさせたいが何か良い方法は？	遠方におられる娘さんがお母様の変化に気づいていただいていたのは良かった。早期に発見し、受診、治療対応と進むのが望ましい。受診についてはお父様のかかりつけ医に同行して診てもらったり、ちよつと風邪を引いたときに受診して診てもらうなど助言しています。正直に、1年半たったので再度受診をしてなんでもなければ良いとして話してみること。認知症の人と家族の会兵庫支部を紹介。	
48		家族	女性	不明			介護方法	認知症	【メール相談】 大変お忙しいところ、このような相談会を開いて下さり、本当にありがとうございます。お電話を何度かトライ致しましたが、電話殺到状態と想像いたします。メールでも可能との記載がありましたので、恐れ入りますが相談させていただいてもよろしいでしょうか。 相談者：娘 患者：父(80歳)認知症歴10年(介護1)。狭心症と前立腺がんを患っています。足腰は健在のため介助はなし。自宅で妻・娘との3人生活。週4日半日リハビリ型デイへ通所。相談内容：尿漏れの相談 半年前より、トイレの失敗が始まりました。切迫性症状ですが、前立腺がんの数値は安定しており、泌尿器科からは薬のみで特別なトイレアドバイスはなし。トイレは自分の意志で自分の歩行で行き、場所も迷う事はありませんが、トイレに入った途端、「尿を出せよ」というスリッパが入るのか、ズボンや、パンツを降ろす前にも尿が漏れ始めています。床はもろもろの降ろすため、150ml吸収型のポクサー・パンツ前開きタイプを履いていますが、床はもろもろのこと、上記3点セットがすべて濡れてしまう状況です。トイレに入ってから数秒我慢して、履き替える状況です。(30分でトイレに行くこともあり、30分で取り換えることも)デイでは3か月前に1度失敗していますが、それ以後は今のところなく、または、150ml吸収ゆえ気が付かない状況です。(初失敗当初は、「濡れている・気持ち悪い」感覚があり、すぐに履き替えましたが、現在は、いつのトイレの時に濡れたのか分からない状況になってきました。ケアマネジャーからは、おむつパンツやパッドが種類豊富なお店やカタログのアドバイスはいただきましたが、そのおむつの中で排尿を完結するなら良いのですが、「降ろすつっ…」ですので、どんなおむつであっても3点セットが濡れることには変わりないと想像しています。 介護施設勤務の方にも相談しましたが、そのような「降ろすつっ～」の経験がないと言われ、トイレのドアだけでなく、蓋を一日中開けておくことも現在検討していますが、なにかこれまでの経験の中でよいアドバイスがありましたら是非参考にさせていただきたく思います。イベントによる大変なお忙しさの中だと思いますので、急いではおりません。お時間のあります時にアドバイスいただけたら幸いです。よろしくお願い致します。	ご相談ありがとうございます。 多分トイレに入ったときに、安心して尿をされてしまうのだと思うます。 男性の方は立ってされるので、便座の前が汚れてしまうという相談をよく受けます。 ご本人が受け入れてくれるかわかりませんが、トイレに入ったら、もう一歩前に進んでいただくようお願いすることはできません。 新聞紙等を便座の前に敷いて汚れたら取り換えている方もいます。が、お母様もいらつしやるので、滑ってしまふ危険性もあるので、あまりお勧めはできません。 便器の下に小さなタオルを置いて尿が床にこぼれないようにしている方もいます。 ご参考にすれば幸いです。	
49		本人		不明			介護方法		【メール相談】わたしには、高次脳機能障害があり要支援なので包括対応になり、横浜市ではケアプラザなのですが、対応エリアのキワなのでと半ばほろつき隣のケアプラザの主任ケアマネに委託して、このケアマネが契約後、一年に一度しか来なく、間違ったケアプランをリハビリ事業所にも送って、こちらのケアマネも法人も正式な謝罪もなく障害者だからってこの対応放置して良いのでしょうか？		